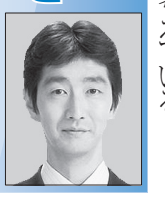
のは、常に進歩し続け、時代とともに更新していくものだが、事業のゴールの段階で、どのようなイメージを抱いているのか伺う。

市長　まちづくり推進地区整備方針の実現で、一定のゴールは見えてくる。商業環境の拡充等を図り、東部地区の玄関口にふさわしい都市空間の創出が求められていると考えている。

魅力ある三鷹の創造のため 観光的側面からのPRを

自由民主クラブ　渥美　典尚　議員



議員　リクルートグループが運営する住宅情報サイトSUUMO(スーモ)が行った「住みたい街ランキング2014関東編」が発表され、本市は総合部門で第22位にランキングされた。この内容から魅力あるまちづくりのヒントが得られると考える。活用について伺う。

市長　基本計画の策定・改定時に実施している市民意向調査などを尊重するとともに、市民との協働のまちづくりの取り組みの中で、このような調査結果も参考にしながら、市民満足度の向上を図っていきたい。

議員　魅力ある三鷹をつくるためには観光的側面からのPRが欠かせない。三鷹の外から集客するための資源としては、三鷹ならではの伝統・文化があり、幅広く周知して育て上げる価値のあるものが存在すると考える。今後の展望を伺う。

生活環境部調整担当部長　文化財や地域の伝統文化ということでは「エコミュージアム活動」があり、今後教育委員会と連携し掘り下げていきたいと考えている。

議員　本市にはジブリ美術館があるが、アニメイベントは近隣市のほうが盛んであるように見える。アニメという資源を活用した三鷹の魅力向上について伺う。

市長　更にアピールが必要な資源だと認識をしているが、10年余り続けてきたインディーズアニメフェスタや三鷹の森アニメフェスタは非常に評価されている。

議員　昨年スタートしたフィルムコミッションは本市のPRに大いに役立つものと考える。これまでの実施状況と今後の展望を伺う。

市長　これまでに18件撮影等が実施されており、今後も口コミで広がっていくものと考えている。なお、市の公共施設についても、できる限り協力していきたい。

愛され続ける三鷹を目指し 10年後を見据えた施策を

自由民主クラブ　伊東　光則　議員

議員　年齢別人口分布は、ピラミッド型が自然で理想だと考える。今後は、理想形に近づくことを意識し、生産年齢人口層に選ばれる行政の取り組みが必要だ。

市長　特に若い世代に住み続けたいと思ってもらえるような特徴ある子育て支援策や都市型産業の誘致、質の高い住宅開発の誘導策等が重要と考えている。

議員　安心して暮らせることは住み続けたいまちの重要な要素だ。安全安心の取り組みについて伺う。

危機管理担当部長　本年4月に防災課を所管する総務部に安全安心課を移管し、危機管理体制を強化した。

議員　コミュニティ創生の主体と考えられる町会・自治会等の加入率が向上していない。市としてもこの課題に取り組むべきだ。

市長　団塊の世代にそれぞれの経験を生かして町会の活動等に貢献をしてもらえるよう啓発していきたい。

議員　ほのぼのネットについては市民の認知度が低いと感じる。認知度向上に向けた取り組みを伺う。

市長　コミュニティまつり等での普及活動を支援しつつ、更にPRしていきたい。

議員　本市の事業に国や都の予算を活用することは重要であり、いち早い情報収集が必要だ。所見を伺う。

市長　職員が国や都の審議会委員等を積極的に引き受け、直接的に情報を把握するように努めている。

議員　三鷹市らしさとは自助・共助・公助のバランスがよく、市民参加が日常化していることだと考える。市では、三鷹市らしさについてどう捉えているか。

市長　市民が協働の取り組みに積極的に新しい方向を作り出していることは、貴重な三鷹市らしさだ。他市の事例を学び、更に三鷹市らしさを深めていきたい。

条例制定を視野に市民協働で 狭あい道路の拡幅に取り組め

自由民主クラブ　土屋　健一　議員

議員　第4次基本計画策定に当たり市内全域で実施したまち歩き・ワークショップでは、多くの住区から安全な道路整備への意見・要望が出た。中でも重要課題である狭あい道路拡幅整備について、進捗状況を伺う。

市長　平成25年度末の市道における4m未満の道路延長は、15年度から2千306m減少したが、なお4万1千402mに及ぶ。

議員　市民の理解を得て拡幅整備を進展させるため、市民との協働で道づくりに取り組むことを明文化した条例の制定を提案する。

市長　市民に対しては、道路用地を寄附した場合の補償金や市の負担で行う工事などについて丁寧に説明し、寄附件数の増に努める。条例化した場合、法的に拘束できる利点がある一方で、市民の私権に踏み込む可能性が出てくるため、慎重な検討が必要だ。

議員　東西幹線道路の中でも歩道が狭い山中通りは、歩行者や自転車等の通行時の危険度が高いが、整備が遅れている。交差点あんしん歩行プラン（仮称）事業に計画されている、かえで通りとの交差点付近の改良に向けた進捗状況を伺う。

都市整備部技監　用地を取得して歩道を設置し、右折レーンを設ける等の整備事業の設計に向けて、地権者に協力を求めている。

山中通り

議員　山中通りの沿道住民からは、大型車両等の通行時の振動に対する苦情も多い。道路舗装の老朽化が要因の一つと考えられるが、舗装のランクを上げる検討はできないか。

都市整備部技監　舗装の厚さは路線の交通量によって決めている。山中通りでは今年度、耐久性が高い舗装材による路面補修を試験的に行っており、その効果を検証中である。

行政改革と市財政の健全性 維持に向けた施策の拡充を

自由民主クラブ　後藤　貴光　議員

議員　市の計画や方針は基本的に最長で12年だ。公共施設は、建設・維持・解体に係る数十年単位のトータルコスト、将来の人口・財政・必要性の分析も必要だ。

市長　常なる見直しは必要だが、基本計画に合わせ12年をひとつの周期とし、将来と過去を見据えつつ、保全に取り組んでいきたい。

議員　公共施設の現状や解体までの超長期的なあり方について、幅広い議論を進める基礎資料として、公共施設マネジメント白書を作成する自治体が増えている。白書作成によるメリットをどう捉えているか。

市長　公共施設のストック、コスト、サービスの視点から、情報を整理する手法のひとつとして有効なものであると認識している。

議員　白書が有効であるのになぜ作成しないのか。

市長　現時点での取り組みで一定の効果があるため、白書を作成していない。

議員　行政が保有しているデータを、再利用しやすい形で公開することで、個人や企業が活用し、行政サービスや政策決定に参加してもらうガバメント2・0に対する本市の考え方と活用に向けた検討状況を伺う。

市長　公開データ等の活用については、研究課題と位置づけている。先行事例の研究なども行いつつ、あり方を検討していきたい。

議員　財源の確保に関しては、納税義務の公平性の担保に向けて、弁護士を一般任期付短時間勤務職員として雇うなど、より一層の取り組みの検討が必要だ。今後の取り組みを伺う。

市長　組織の統合を行い徴収体制の強化を図った。本年度新たに遠隔地の滞納者対策として、業務委託により現地訪問調査を実施する。弁護士の配置については検討課題としたい。

憲法施行記念事業の 今後のあり方を問う

自由民主クラブ　吉野　和之　議員

議員　憲法改正に関しては各党、国民の間で様々な意見があるが、憲法をめぐる社会状況の変化に伴い、国民一人ひとりがしっかりと考える時期に来ていることは確かだ。憲法に対する基本的考え方について伺う。

市長　三鷹市という基礎自治体の市長として憲法を尊重・遵守する立場を法により求められている。今後も幅広い国民的議論を見守っていきたいと考えている。

議員　憲法施行記念事業において、講師から様々な意見が表明されるなら問題はないが、護憲という一つの方向性を持っているのではないかと感じる。今年の憲法を記念する市民のつどいについて所見を伺う。

市長　今回も事前に幅広い市民が参加する憲法を記念する市民のつどいの趣旨やあり方について丁寧に検討した。ただ、講師の印象については様々な受け取り方があると認識をしている。

議員　今年度の予算審査特別委員会で「憲法施行記念行事については、市民の中にも、改憲・加憲・護憲等の多様な考え方があることを十分に考慮した事業になるよう努めること」という附帯意見が付された。憲法施行記念事業にどう生かされるのか伺う。

市長　市としては、バランスのとれた憲法関連事業を行う責務が求められていると改めて認識をしている。

議員　大きな社会状況の変化と、附帯意見が付されたということを十分考慮した上で、憲法施行記念事業に取り組むべきと考える。今後の憲法施行記念事業のあり方について伺う。

市長　大変難しい政治状況の中、バランスのとれた事業をどう実現するかは重い課題だと受け止めている。

〈その他の質問〉道徳教育について

地方分権改革の 影響と効果を問う

自由民主クラブ　石井　良司　議員

議員　地方自治体は独自に判断できる範囲は少ないが、多くの業務を担っており、住民、地方自治体の相互の連携・協力が不可欠だ。そこで、地方分権改革への市民参加のあり方を聞く。

市長　責任感と自覚を持っ